

竣工90周年 大阪府庁が建てられた時代



公文書館専門員 的場 茂

ここは「正庁の間」

- § 正面の大広間、表座敷
- § 年末年始の行事や人事発令・式典
- § 大正時代当時の姿に復元・改修
- § 一般公開（平成24年1月から、水曜日・金曜日）



こんな使われ方も



みどころ



府庁にはこんなものもあった



大坂町中時報鐘

府庁屋上に設置されていたが
昭和60年に釣鐘町へ里帰り

お初徳兵衛も聞いた鐘



(資料: 国立文楽劇場)

大阪 あーかいぶず

大阪府公文書館

ホームページ

<https://archives.pref.osaka.lg.jp/>

大阪府公文書館

検索



大阪府

大阪 あーかいぶず

「あーかいぶず (Archives)」とは、英語で公文書、文書館という意味です。

目次	
大阪府庁舎竣工 90 周年 ～公文書にみる大阪府庁舎の建設～	1 頁
府庁 90 年、公文書館 30 年、そして約 50 年	5 頁
平成 27 年度 古文書講座 フォローアップ	6 頁
平成 27 年度 古文書講座 アンケート結果について	8 頁
平成 27 年度 開催イベントを振り返って	10 頁
平成 27 年度 登録資料「ドインマルク機関運賃料」の紹介	11 頁
公文書館 事業の推移	12 頁

第49号 平成28年9月
大阪府公文書館発行



大阪府庁舎竣工 90 周年 ～公文書にみる大阪府庁舎の建設～

■ はじめに

平成 28 (2016) 年は、大阪府庁本館（以下、大手府庁舎と呼ぶ）が竣工 90 周年を迎える。大阪府公文書館 30 周年の節目でもあった昨年同様、竣工 90 周年のプレイベントとして、大正時代の大阪の歴史を振り返る歴史講座と府庁本館の発祥をセットにした府庁学舎が歴史のうらに開催された。さらに、5 階の正庁の隣に隣接する展示室においては、庁舎周辺整備と、大阪府文化財センターとの合同展示で、「大阪府庁が建てられた時代」というテーマの展示を行って、大阪府公文書館は府庁本館竣工当時の写真や庁舎建設に関する行政文書など貴重な資料を公開している。

本稿では、上記出版の行政資料に加えて、主に公文書館の所蔵資料を中心に、大阪府庁本館の建設経緯やヒソソなどについて紹介する。

■ 初代と 2 代目の庁舎

まず、初代と 2 代目庁舎について簡単に紹介する。



【初代大阪府庁舎 西町奉行所】

明治元 (1868) 年 1 月 22 日、明治政府は、全国初の地方官庁としての「大阪府庁」を設置した。大阪府の府庁はここに始まる。しかし、わずか 5 日後に「大阪裁判所」と名を変え、旧西町奉行所（現在中央区本町橋）に事務所を構えた。その後、「府庁第三治制」で同年 6 月 2 日に「大阪府」が設置されることとなり、旧西町奉行所はそのまゝ初代大阪府庁舎となった。初代庁舎の敷地面積は 9,583 ㎡であり、明治初年頃には、約 300 人の職員が務めていた規模である。

明治 4 (1871) 年 7 月 14 日、明治政府は東洋館を新設した。これにより、大阪府は、住吉・東成・西成・島上・葛下・豊島・船場、14 区 10 町 1 郡を管轄することになった。この当時は、府庁・府庫は堺島の豊島、この頃から、本格的な府庁舎の建設が望ましいという意見が出てきた。

明治 5 (1872) 年、府では、官民共済の費用で府庁舎を新築することを決めた。新庁舎は、川口船場地の西側に位置する江戸子島の地に着工、7 年 7 月に落成。同年 8 日から 6 日間にわたって一般公開を行い、18 日府庁舎から移転して、翌 19 日盛大な開庁式が挙行された。しかし、新庁舎が作りに遅れをきたして建てられたとのことで、批判があった。庁舎を西向きに建築させた理由について、当時の府庁舎初代は、堺東市は必ず西向き

大阪府庁は三代目

§初代 本町橋(西町奉行所)

§二代目 江之子島

§三代目 大手前(現在)

大正15年10月31日竣工
(大正の終わり、12月25日からは昭和)

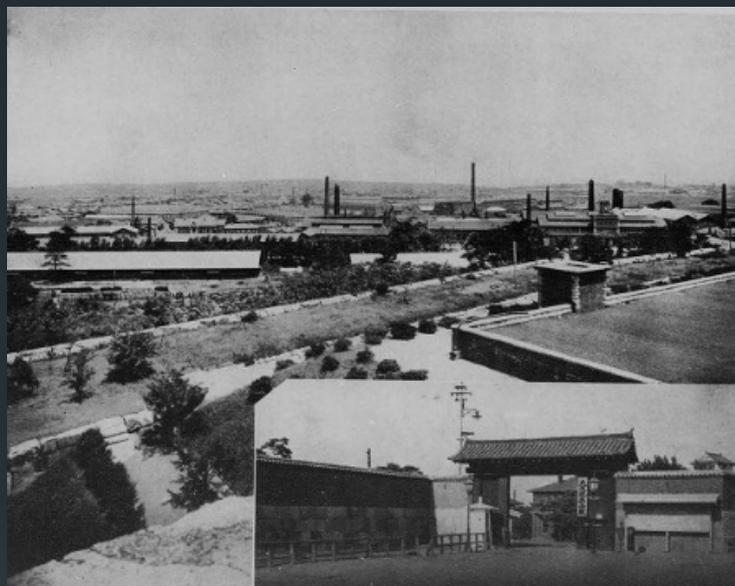


大阪府庁は上町台地の端



(資料: 国土地理院)

もとは軍用地



砲兵工廠

第八連隊



大阪府庁が建てられた

大正時代

§ 大正時代とはどんな時代だったのか(日本・世界)

§ 日本の中での大阪府の位置づけ

§ 大正期の大阪府知事、プロフィールと事績

§ 「郡役所の廃止」と「三部制経済の廃止」

行政単位としての「郡」、都市部と対比したときの「郡」部
郡役所は前者、三部制経済は後者

大阪府行政の枠組が変貌を遂げたのがこの時代

大正時代とはどんな時代だったのか

§ 第一次世界大戦（大正3 1914） ...総力戦の時代

§ ロシア革命、ソビエト政府（大正6 1917）

...社会主義国家の誕生

§ 国際連盟発足（大正9 1920） ...国際協調への機運

§ 米騒動（大正7 1918）

...資本主義の発達、都市・農村の経済格差

§ 原敬内閣（大正7 1918） ...政党政治へ

§ 関東大震災（大正12 1923） ...災害と深刻な不況

一方で、大正デモクラシー、大正ロマン

大正時代の大阪府知事

知事(出身)	知事歴任地	大阪府知事就任	在任期間
大久保 利武 (鹿児島)	鳥取、大分、 埼玉	大正元年(1912年) 12月30日	4年11ヶ月
林 市蔵 (熊本)	三重、山口	大正6年(1917年) 12月17日	2年1ヶ月
池松 時和 (鹿児島)	千葉、滋賀、 和歌山	大正9年(1920年) 2月3日	2年8ヶ月
井上 孝哉 (岐阜)	富山、神奈川	大正11年(1922年) 10月16日	7ヶ月
土岐 嘉平 (和歌山)	高知、石川	大正12年(1923年) 6月15日	3ヶ月
中川 望 (宮城)	山口、鹿児島	大正12年(1923年) 9月29日	3年7ヶ月

頻繁な知事交替

§一年間に4人
(大正11~12年)

§関東大震災の頃

(参考)

大正期の大阪市長

- ◆ 池上四郎
大正2年10月～大正12年11月
- ◆ 關 一
大正12年11月～昭和10年1月

知事更迭に関する意見書

近來我大阪府知事ノ屢々更迭しばしばアルハ府政上

すくな

じこん

はら

遺憾尠カラズ爾今相當ノ考慮ヲ拂ハレシコ

トヲ望ム

右府縣制第四十四條ニ依リ意見呈出候也

大正十二年十二月 日

大阪府會議長 杉本又三郎

内務大臣子爵 後藤新平 殿

大大阪と呼ばれた時代

- § 1925年(大正14年)4月1日の第二次市域拡張
- § 東成区、西成区を加えて13区に増加
- § 大阪市の人口は全国一に(211万人)
- § 大坂城天守の再建
- § 御堂筋、地下鉄御堂筋線の建設
- § 産業振興や都市開発を主に大阪市が担う
- § 大大阪 = 大大阪市？
- § 大阪府の役割は福祉・文化？

大正14年4月(第2次市域
拡張)による大阪市
大阪市ホームページより



14代 大久保 利武

§ 大正元年(1912年) 12月30日
～大正6年(1917年)12月17日

§ 大久保利通の三男

§ 小河滋次郎博士を招き、府の
救済事務の指導監督の任に
就かせる。



15代 林市蔵

§ 大正6年(1917年) 12月17日
～大正9年(1920年)2月3日

§ 小河滋次郎博士を引き留め
都市貧困問題の解決に腐心、
方面委員制度を創設(全国初)

§ 方面委員は現在の民生委員の魁



16代 池松 時和

§ 大正9年(1920年)2月3日
～大正11年(1922年)10月16日

§ 府立中学4校、女学校3校を増設

§ 寝屋川の改修

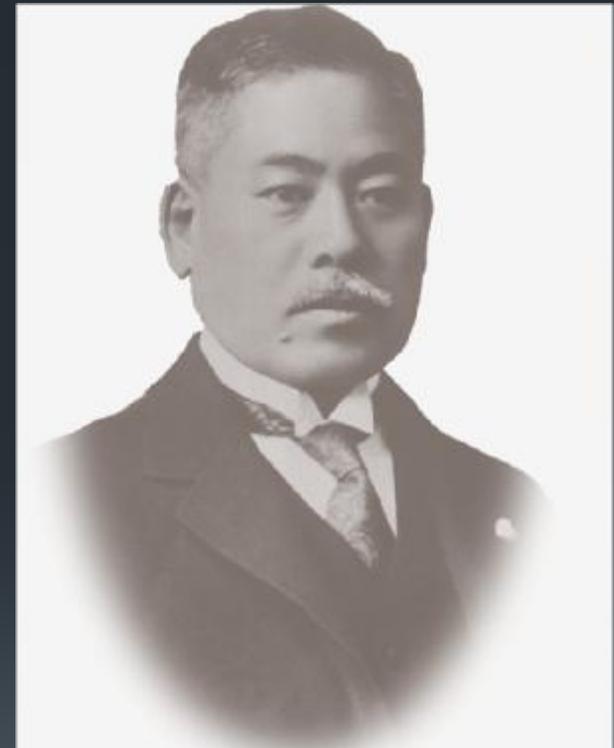
§ 大手前新庁舎の設計計画



17代 井上 孝哉

§ 大正11年(1922年)10月16日
～大正12年(1923年)6月15日

§ 衆議院議員と兼務。



18代 土岐 嘉平

§ 大正12年(1923年)6月15日
～大正12年(1923年)9月29日

§ 関東大震災の発生に際し、救援
物資輸送等の対応を実施



19代 中川 望

§ 大正12年(1923年)9月29日
～昭和2年(1927年)5月17日

§ 三部経済の廃止を実現

§ 大手前庁舎が竣工



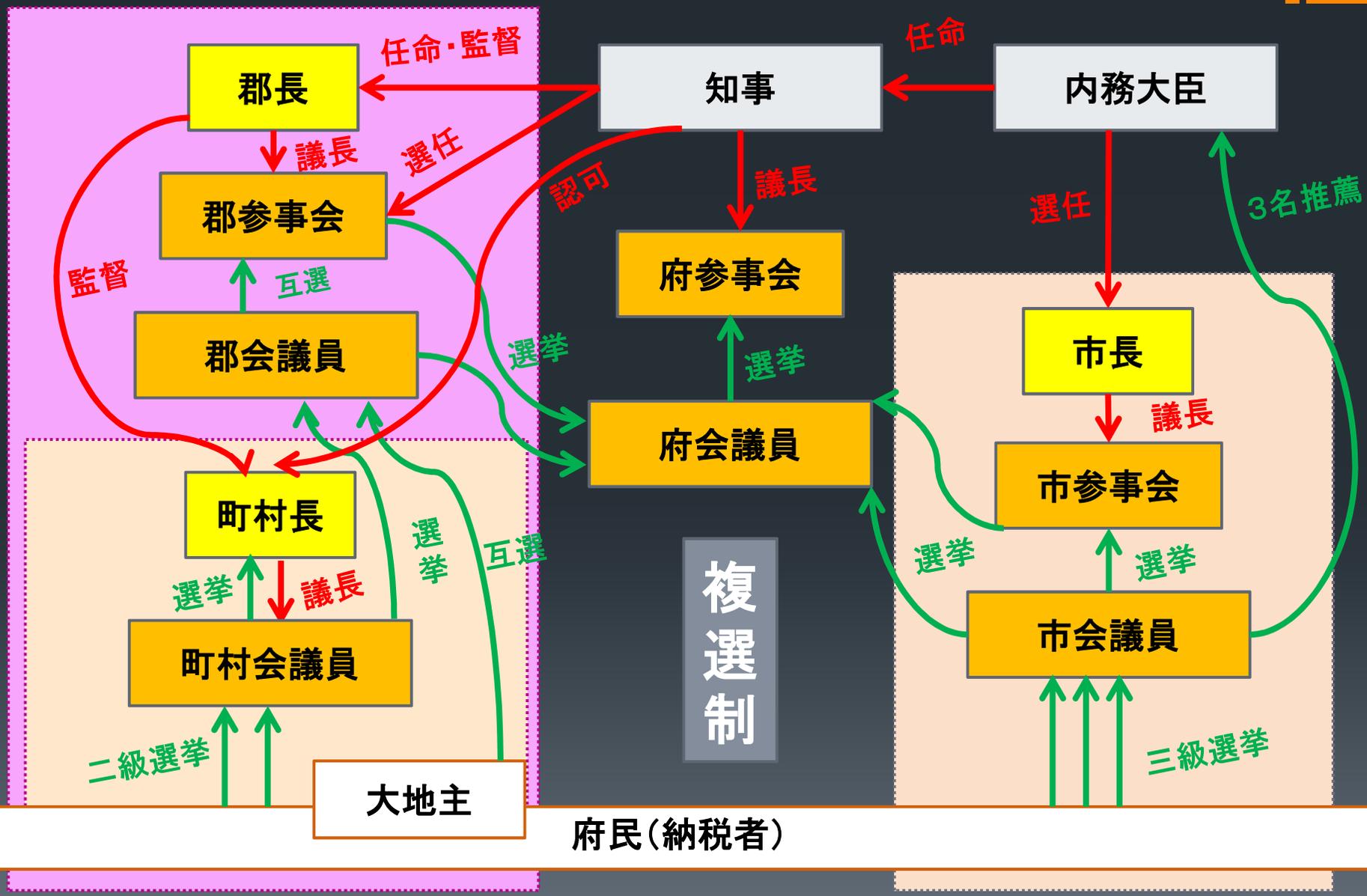
郡制度の推移(大正年間を中心に)

- § 明治11年(1878年) 郡区町村編制法制定
- § 明治31年(1898年) 大阪府で郡制を施行

- § 大正10年(1921年) 郡制廃止法が公布
- § 大正12年(1923年) 郡会が廃止
- § 大正14年(1925年) 府予算の三部制を廃止
- § 大正15年(1926年) 郡長と郡役所が廃止

大阪府の郡制度はわずか30年たらず

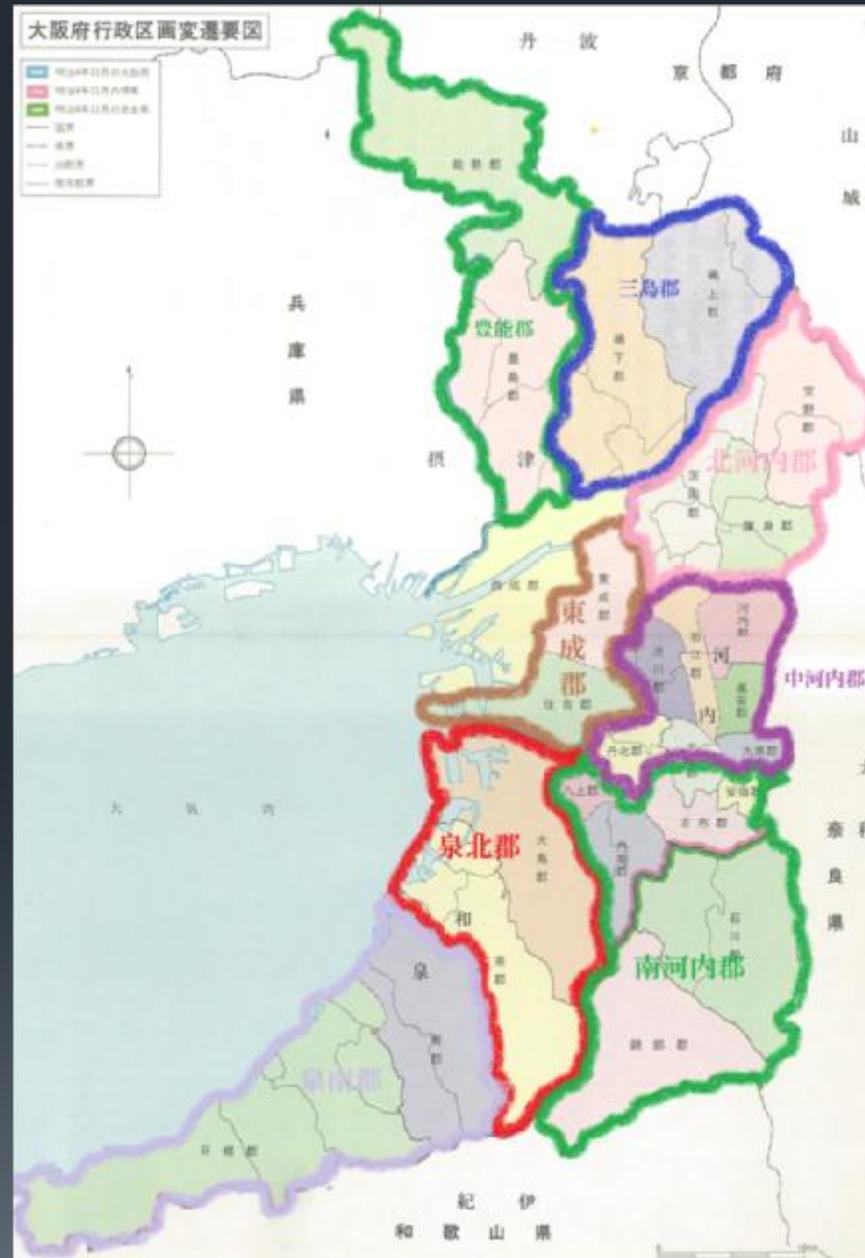
郡の位置づけ



大阪府下の郡

- § 西成郡 上福島村(福島区)
- § 東成郡 天王寺村(天王寺区)
- § 三島郡 茨木村(茨木市)
- § 豊能郡 池田町(池田市)
- § 泉北郡 鳳村(堺市西区)
- § 泉南郡 岸和田町(岸和田市)
- § 南河内郡 富田林町(富田林市)
- § 中河内郡 八尾村(八尾市)
- § 北河内郡 枚方町(枚方市)

※ 町村名は郡役所所在地



なぜ郡制度は短命

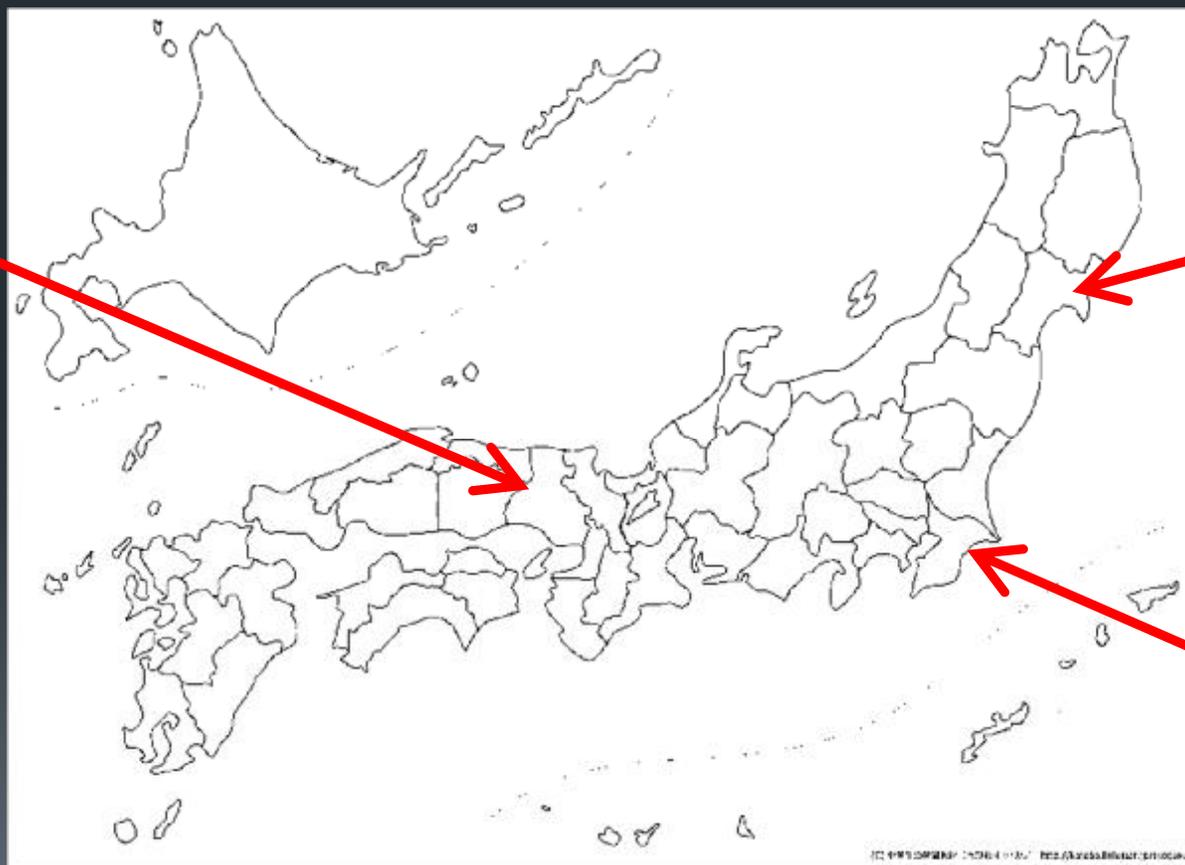
- n 行政機構の複雑化・煩雑化の弊害
- n 自治団体としての実績に乏しい郡
- n 住民の帰属意識が希薄
- n 制度の下敷きとなったプロイセンとは事情が相違

大阪府の郡制度はわずか30年たらず

郡役所の復活？

平成の市町村大合併の結果、市が昔の郡の規模になったところや、全国には市名として郡名が採用されたところがある。

宍粟市



登米市

匝瑳市

三部経済の予算

§ 連帯、市部、郡部と予算を三分割

§ 連帯については、市部と郡部で負担割合を決めて負担

大正11年度予算の構造（単位：円）

	歳入	歳出	市部負担	郡部負担	歳出のポイント(知事説明)
連帯	4,310,073	4,310,073	2,593,423 60%	1,716,650 40%	道路改修土木費、師範学校拡充、機械工業奨励施設、メートル法統一準備、警官増員
市部	11,566,981	11,566,981			高等女学校増設・改築、図書館増築、私立学校補助費、河川浚渫、海外貿易・同業組合振興、派出所増設、消防費増強
		1,451,070 経常			
		1,142,353 臨時			
郡部	5,589,084	5,589,084			道路・橋梁改修、寝屋川改修、中学校開校、農学校移転、農業試験場設備
		833,503 経常			
		883,147 臨時			

三部経済の問題点

§ 行財政が繁瑣で非効率

§ 市部・郡部の利害対立

§ 郡部の都市化、市・郡の関係の緊密化、格差縮小

§ 東成郡、西成郡の大阪市編入（大正14年4月）

三部経済の廃止へ

- § 大阪府が全国に先駆けて廃止...大正14年(1925年)3月
- § 郡部会、市部会が消滅し府会に統一
- § 郡部の農学校建築、寝屋川第二期改修工事など継続
- § 市部は継続事業なし

大正時代の大阪の街並み



大正時代の大阪の街並み

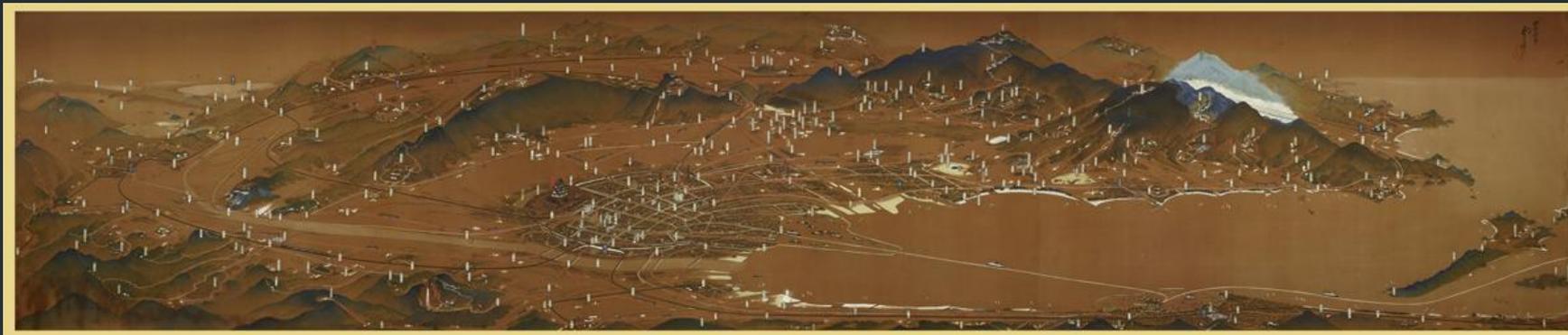
新世界



道頓堀



大阪府鳥瞰図



- § 昭和の初期に描かれた鳥瞰図
- § 陸軍大演習に際して天覧用に製作
- § 画家は「大正の広重」と呼ばれた吉田初三郎
- § 実物は大阪府公文書館に展示

大阪府鳥瞰図(部分)

